

■ 第20回 多摩川流域セミナー

予期せぬ集中豪雨にどう備える! ～多摩川の安全と安心を考える～

主催: 多摩川流域懇談会

「治水」とは、洪水によって起こる災害から生命や財産などを守ることで、その「治水」を脅かす「観測史上最多」、「記録的な集中豪雨」など予期せぬ水害が、近年全国各地で発生しています。



もしも、多摩川でこのような水害が起こったら…。多摩川の「本当の」安全と安心とは？これが今回の流域セミナーのテーマです。

● 日時

… 平成17年12月17日(土) 11:00～16:30

● プログラム

… 11:00-12:00

降雨体験車で時間100mm以上の雨を体験してみよう！日本に一台しかない自然災害体験車もやってきます。100インチのスクリーンに映し出される立体映像で土石流の発生を疑似体験してみよう！

… 13:00-16:30

開会挨拶

- イントロダクション：全国的に多発する集中豪雨の傾向(京浜河川事務所)
東京都内における記録的集中豪雨について(東京都)
多摩川洪水ハザードマップについて(川崎市)

話題提供

- 多摩川の治水の歴史を学ぶ(多摩川流域ネットワーク)
- 多摩川の川づくり計画のフォローアップ(京浜河川事務所)

ディスカッション

「いざという時にあなができること」

コーディネーター：倉持武彦(多摩川流域ネットワーク) 山田政雄(京浜河川事務所)

開会挨拶

■ 第20回 多摩川流域セミナー 開催報告

予期せぬ集中豪雨にどう備える! ～多摩川の安全と安心を考える～

主催: 多摩川流域懇談会

2005(平成17)年12月17日(土)、多摩川流域懇談会の主催により、川崎市多摩区にあるニヶ領せせらぎ館で「第20回多摩川流域セミナー」を開催しました。

このセミナーは、1999(平成11)年3月22日(月)に第1回を開催して以来、今年で7年目20回を数えました。今回も、午前・午後の部をあわせ約90名の方々にご参加いただきました。

今回の流域セミナーのテーマは「治水」です。

近年、時間雨量50mmを越えるような集中豪雨が増えています。話題提供の前に、皆さんに「降雨体験車」での豪雨体験と、日本に1台しかない「自然災害体験車」で土石流の疑似体験をしていただきました。

せせらぎ館の1Fでは、昭和49年の狛江災害、平成12年の東海豪雨、そして平成16年度の集中豪雨や台風による被害の記録映像を放映しました。



午後からはせせらぎ館2Fに会場を移し、話題提供とディスカッションです。

話題提供の前のイントロダクションとして、「“集中豪雨”とそれにどう対応するか?」についての情報提供を行いました。

京浜河川事務所からは「全国的に多発する集中豪雨の傾向」と題し、平成16年の新潟・福島豪雨や、今年発生した台風14号による九州・四国地方での被害、またハリケーン・カトリーナによる被害などについて報告し、今後の大規模降雨災害対策や高潮対策についての説明を行いました。



東京都からは、今年発生した台風14号の影響で起きた、局地的な集中豪雨の被害と対応状況の報告と、今後の災害防止に向けた取り組みについての説明がありました。

川崎市からは、平成16年11月に公表された「洪水ハザードマップ」について、公表までの経緯や作成にあたって工夫した点、各区の浸水状況の特徴などの報告がありました。



また今回は、無線を使用した映像の伝送実験を行いました。会場の対岸・狛江市の「多摩川決壊の碑」(昭和49年の狛江水害により堤防決壊が発生した箇所)からの生中継です。

京浜河川事務所では、リアルタイムな雨量・水位情報や、固定ライブカメラ映像での情報提供を行っていますが、今回実験した新技術などの活



用も検討しながら、情報収集・情報伝達の充実を図っていきたいと考えております。

続いて話題提供です。

トップバッターの長島さん(地域史研究者・多摩川流域ネットワーク代表)からは「多摩川の治水を歴史を学ぶ」です。近代最大といわれる明治40・43年の水害や、その後の多摩川築堤運動、また大正時代から昭和初期にかけての多摩川改修工事についての発表がありました。



つづいて、京浜河川事務所の藤田(調査課長)より、「多摩川の治水メニュー」と題した発表です。多摩川水系河川整備計画の治水対策に関して、平成16年度の実施状況と、新たな視点で今後取り組むべき内容などについての話題を提供いたしました。



その後のディスカッションでは、「水害時の避難や今後の治水対策・整備のあり方」などについて意見交換を行いました。水害による被害を少しでも軽減するためには、行政からの「わかりやすい情報提供」が重要であるとともに、一人一人が積極的な情報収集を行うことが必要であるという結論で締めくくられました。



今回は、2005年最後の流域セミナーです。みなさんの投票で「多摩川(勝手に)十大ニュース！」を決定しました。

多摩川(勝手に)10大ニュース

- 1位 ... 多摩川流域の水辺の楽校が10校に！多摩川を結ぶ水辺の楽校ネットワークが作られ、流域交流が始まる。
- 2位 ... 源地域の奥多摩でニホンジカが増え、生態系への影響が懸念される。
- 3位 ... 川崎市に新組織誕生！多摩川施策推進担当を環境局に設置。
- 4位 ... 多摩川河口が羽田空港拡張計画によりせばめられる計画と決定される。
- 5位 ... 整備計画のフォローアップの一環で、現地を歩きながら「ふれあい点検」を実施！
... 多摩川流域セミナー、第20回を開催！
- 7位 ... アユが今年も多数遡上する。
- 8位 ... 水流実態解明プロジェクトの「水流解明キャラバン」が多摩川流域を概ね一巡した。
- 9位 ... 流域セミナーで初！多摩川の味をテーマに意見交換。
- 10位 ... 多摩川水系浅川に係る浸水想定区域を指定・公表！

- ・・・個性、魅力、活力のある地域に。手作り郷土賞で「二ヶ領用水(川崎市)」「郷土の森博物館(府中市)」「お鷹の森遊歩道(国分寺市)」が大賞部門を受賞。
- ・・・多摩川流域懇談会に企業参画の動きが始まる。
- ・・・二子玉川保育園児水死事故の裁判が開かれ、保育士が有罪となる。
- ・・・支流の野川で9月の集中豪雨により、数百戸の家屋が床上床下浸水した。

2006年最初の多摩川流域セミナーは「多摩川水系河川整備計画フォローアップ」をテーマに、2月19日(日)に開催する予定です。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております！